

平 成 26 年 度

主 要 な 施 策 の 成 果 説 明 書

中 央 区

地方自治法（昭和22年法律第67号）第233条第5項の規定
に基づき、平成26年度における主要な施策の成果説明書を
提出します。

平成27年9月16日

中央区長 矢 田 美 英

主 要 な 施 策 の 成 果 に つ い て

本区の人口は平成10年以来増加を続けており、平成26年の1年間では5,478人の増となりました。特に30歳代から40歳代の子育て世代が人口構成の中心となり、出生数は9年連続して1,000人を超え、平成26年は1,838人となりました。

こうした人口の増加や人口構成の変化に対処するには、子育て支援の充実や高齢者施策の一層の強化が重要であるとともに、本区のにぎわいを支える区内中小企業に対する支援などの景気対策、都心である本区の特性を踏まえた防災対策、待ったなしの地球温暖化対策など、多様な行政課題への的確な対応が不可欠です。さらに、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取組も視野に入れた、柔軟な行政施策の展開が求められています。

こうした状況を踏まえ、「基本計画2013」の2年目にあたる平成26年度は「オリンピック・パラリンピックで子どもたちに夢を！」をテーマに、2020年を契機とした将来的なまちづくりを目指し、学校の増改築や介護施設等の基盤整備、都心からにぎわい創出を図るための商店街活性化や都市観光の推進などに重点的に取り組みました。また、各種施策の充実・強化を図り、首都直下地震等に備えた高層住宅の防災対策や建築物の耐震化の促進、仕事と子育ての両立に向けた保育施設の整備や支援体制の強化、住み慣れた地域でいつまでも暮らし続けられる在宅介護の充実や「70歳就労社会」実現に向けた各種事業の展開、理数教育への関心・意欲の醸成や国際化を見据えた教育体制の充実など、すべての方にやさしく、安心して暮らせるまちの実現に向けた取組を実施しました。

主要な施策の成果は、次のとおりです。

平成26年度 主要な施策一覧

事業				新規	決算額 (千円)	頁
1 思いやりのある 安心できるま ちをめざして	○生涯をいきい きと暮らすた めに	＊保健医療	(1) 母子保健指導		22,080	6
			(2) プレママクッキング(食育講習会)		91	6
			(3) がん検診		460,808	6
			(4) 歯科健康診査		70,975	7
			(5) 自殺総合対策推進事業		1,550	7
			(6) 先天性風しん症候群対策風しん抗体検査 および予防接種費用助成		8,136	8
			(7) 予防接種		35,511	8
		＊障害者福祉	(1) 障害児放課後等デイサービスの実施		28,885	9
			(2) 障害者就労支援モザイク平板の設置		3,108	9
			(3) 精神障害者地域活動支援センター「ポケッ ト中央」の事業拡充		43,569	9
			(4) 障害者ヘルプカードの作成		2,152	10
			(5) 障害福祉サービス等利用計画の作成		14,315	10
			(6) 障害者基幹相談支援センター事業の開始	新規	12,256	10
			(7) 精神障害者グループホームに対する区認 定制度の創設	新規	3,195	11
			(8) 中等度難聴児発達支援事業	新規	370	11
		＊高齢者福祉	(1) 高齢者合同就職面接会		124	11
			(2) 高齢者健康づくり事業		30,506	11
			(3) 敬老大会		69,779	12
			(4) 地域見守り事業支援		1,154	12
			(5) 高齢者食事サービス		21,746	13
			(6) 地域密着型特別養護老人ホーム等「ケア サポートセンター十思」等複合施設の整備		912,282	13
			(7) 在宅療養支援		19,174	14
			(8) ミドルステイ・緊急ショートステイ		16,660	14
			(9) 巡回型ホームヘルプサービス		72,390	15
			(10) 高齢者生活援助サービス		17,125	15
			(11) 元気高齢者人材バンク		1,425	15
	○健やかな子ど もを育むため に	＊子育て支援	(1) 新川児童館の移転改築および新施設の開 設		552,999	16
			(2) 子どもの居場所「プレディ」の拡大		272,905	16
			(3) 「中央区子ども・子育て支援事業計画」の 策定		7,104	16
			(4) 認可外保育施設保育料の助成		201,594	16
			(5) 子ども医療費助成		565,279	17
			(6) 新設私立認可保育所への開設準備経費 補助		611,371	17
	○思いやりとふ れあいのある まちのために	＊男女共同参画	(1) ワーク・ライフ・バランス推進企業等の認定		4,184	18

平成26年度 主要な施策一覧

事業				新規	決算額 (千円)	頁
2 うるおいのある 安全で快適な まちをめざして	○ 住みやすい 環境づくり	* 住宅・住環境	(1) 高齢者向け民間賃貸住宅の整備誘導		91,804	19
		* 公園・緑地・水 辺	(1) 民間施設の緑化促進		8,468	19
			(2) 水の都プロジェクトの推進		12,496	20
			(3) 街路樹の整備		5,521	20
			(4) 公園の改修		116,954	20
			(5) 築地川亀井橋公園のバリアフリー化		3,510	21
	○ 地球にやさし い環境づくり	* 環境保全	(1) 区施設の設備運用改善による省エネ ギの取組		5,997	22
			(2) 自然エネルギーおよび省エネルギー機器 等導入費助成		19,497	22
			(3) 照明灯のLED化		75,002	22
			(4) 「中央区の森」の間伐材を活用したベンチ 整備		2,473	22
			(5) 地域クリーンパトロールの展開		40,325	23
			(6) 緑化表彰制度の創設	新規	65	23
		* 循環型社会	(1) リサイクル事業の普及・啓発		1,924	23
			(2) 土のリサイクル		3,389	24
			(3) 資源持ち去り防止対策		5,450	24
			(4) 資源再利用(リサイクル)の推進		520,445	24
	○ 都心にふさわ しい都市の基 盤づくり	* 道路・交通	(1) 橋りょう長寿命化修繕工事		71,855	26
			(2) 橋梁長寿命化修繕計画の改定		6,080	26
			(3) 道路ストック総点検		48,884	26
			(4) 昭和通り銀座歩道橋昇降機の改修		18,378	27
			(5) 新島橋の架替		206,786	27
			(6) 環境にやさしい道路の整備		52,622	27
			(7) にぎわいのある道路の整備		21,492	27
			(8) 駐輪場の整備		16,937	28
			(9) 電線共同溝の整備		410,014	28
			(10) 人にやさしい歩行環境の整備		114,659	29
			(11) 歩行者専用橋の整備		199,205	29
			(12) 地下鉄計画検討調査	新規	9,910	30
			(13) 基幹的交通システム(BRT)の導入		3,125	30
		* 防災・危機管理	(1) 防災拠点運営委員会への支援		14,507	30
			(2) 防災拠点運営委員会訓練		11,873	31
			(3) 女性等に配慮した備蓄品の整備		1,630	31
			(4) マンホールトイレの設置		12,561	31
			(5) 防災対策優良マンション認定制度の創設	新規	—	32
			(6) 高層住宅防災対策DVDの製作	新規	7,024	32
			(7) 安全・安心メール		2,381	33
			(8) 帰宅困難者支援施設運営協議会への支 援		4,630	33
			(9) 帰宅困難者対策条例に基づく備蓄品の整 備		27,023	33
			(10) 住宅・建築物の耐震化助成		1,602,919	34
			(11) 災害時対応型公衆便所の整備		93,763	35
			(12) 安全・安心おまかせ出前相談と住まいの防 犯対策助成		64	35
			(13) 防犯設備設置費助成		14,370	35
			(14) 新型インフルエンザ等対策行動計画の策 定		180	35
		* 地域整備	(1) 名橋「日本橋」上空の首都高速道路撤去 および日本橋再生に向けたまちづくり		7,948	36
			(2) まちづくり支援事業(コミュニティ・ファンド)		680,452	36
			(3) 築地場外市場地区先行営業施設の整備・ 開設準備		772,263	36
			(4) 晴海地区将来ビジョンの策定	新規	7,000	36
			(5) 都市再生土地地区画整理事業助成		711,416	37
			(6) 市街地再開発事業助成		7,616,965	37

平成26年度 主要な施策一覧

事業				新規	決算額 (千円)	頁
3 にぎわいとふれあいのある躍動するまちをめざして	○ にぎわいと活力のある産業のまちづくり	* 商店街振興	(1) 観光商業まつり		41,869	38
			(2) お江戸文化村in浜離宮恩賜庭園の実施		17,919	38
			(3) 商店街支援事業補助		207,937	38
			(4) 商店街振興プランの策定	新規	9,254	39
			(5) 商店街美化促進事業補助		16,514	39
			(6) 共通買物券の発行		580,968	40
		* 産業振興	(1) 中小企業振興補助		6,156	40
			(2) 産業文化展		37,112	40
			(3) 日本橋問屋街活性化事業支援		2,867	40
			(4) 商工業融資		2,399,910	41
			(5) 若年者合同就職面接会		253	42
			(6) 職業相談・就職ミニ面接会		527	42
		* 観光	(1) 「お江戸満喫まち歩き」舟運ツアーの実施		-	42
			(2) まち歩き観光地図アプリ「中央区まち歩きマップ」		3,065	43
	○ いきいきと学び豊かな個性を育むまちづくり	* 学校教育	(1) 学習意欲の向上と学習習慣の定着		5,883	44
			(2) 小学校の学力向上対策		63,294	44
			(3) 中学校の学力向上対策		72,443	44
			(4) 英語教育の推進		76,921	45
			(5) 校務支援システムの導入	新規	90,864	45
			(6) 健康教育の推進		55,750	46
			(7) 国際教育・理数教育の推進		2,366	46
			(8) 特別支援教育への対応		136,696	46
			(9) 心を育てる教育の推進		15,021	47
			(10) 教育相談等		60,495	48
			(11) 小学校・幼稚園の改築・増築		5,394,155	48
			(12) スクールバスの運行		30,044	49
			(13) 教育振興基本計画の改訂	新規	755	49
			(14) 学校評価システムの推進		2,130	49
		* 生涯学習・スポーツ	(1) 明正小学校のスポーツ開放	新規	883	50
	○ 文化の香る交流のまちづくり	* コミュニティ	(1) 大江戸まつり盆おどり大会		44,148	51
			(2) 雪まつり		12,770	51
			(3) 協働提案事業		2,569	51
			(4) 区民還暦祝い事業		10,864	52
		* 文化振興	(1) 中央区まるごとミュージアム		33,826	52
			(2) まちかど展示館		25,708	53
			(3) 文化事業助成		2,759	53
		* 平和	(1) 平和の都市(まち)の楽しい集い		9,444	53
			(2) 平和展		2,445	54

平成26年度 主要な施策一覧

事業			新規	決算額 (千円)	頁
4 その他の主要な課題への対応と区政改革の推進	○ 新たな課題への対応	(1) 「区のおしらせ 中央」および「区議会だより」の地下鉄駅での配布		584	55
		(2) 区議会ホームページ一般質問音声データの掲載	新規	906	55
		(3) 日曜開庁日の拡大		4,531	55
		(4) 保健医療福祉計画の改定		20,264	56
		(5) 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会実施に伴う影響等調査	新規	12,744	56
	○ 区施設の改修	(1) 中央会館「銀座ブロッサム」		59,352	57
		(2) 特別養護老人ホーム「マイホームはるみ」等複合施設		1,046,410	57
		(3) 新川区民館・新川職員住宅		44,140	57
		(4) 日本橋保健センター等複合施設		81,285	57
		(5) 箱崎町住宅		40,716	57

計 130事業(うち新規14事業)

1 思いやりのある安心できるまちをめざして

○ 生涯をいきいきと暮らすために

* 保健医療

(1) 母子保健指導 [決算額 22,080千円]

ア 新生児等訪問指導

乳幼児家庭の孤立化を防ぎ、母子の状況把握や助言などを行うため、保健師などによる新生児等訪問指導や、健診などで状況が把握できない1歳6カ月児と3歳児がいる子育て家庭の調査と訪問指導を行った。

また、訪問を通じて支援が必要な母子を把握した場合は、子ども家庭支援センターに相談・通告を行うなど必要なサポートにつなげた。

新生児等訪問指導件数 1,817件

1歳6カ月児の状況把握数 1,756人

3歳児の状況把握数 1,575人

イ パパママ教室（両親学級）

初めて出産を予定している夫婦が講義・実習を通してともに学び、協力して子育てをしていく動機づけの場として開催した。平成26年度は参加者の増加に対応するため、開催回数を16回から19回に増やした。

参加者数 973人

(2) プレママクッキング（食育講習会） [決算額 91千円]

初めて出産を予定している妊婦を対象として、栄養・食生活に関する知識の普及や調理実習を含む講習会を実施した。平成26年度は参加者の増加に対応するため、開催回数を3回から4回に増やした。

参加者数 62人

(3) がん検診 [決算額 460,808千円]

がんの早期発見・早期治療を目的として、各種がん検診を実施した。平成26年度は、受診率向上のため新たに胃がん検診未受診者に再勧奨を行った。

また、平成25年度に引き続き20歳～58歳までの乳がん・子宮がん検診の未受診者に再勧奨を行うとともに、国の「がん検診推進事業」も引き続き実施した。

受診者数 胃がん検診 10,819人

大腸がん検診 15,722人

子宮がん検診	7,495人	(区 7,474人 国 21人)
乳がん検診	5,179人	(区 4,904人 国 275人)
肺疾患（肺がん等）検診	17,063人	
前立腺がん検診	4,733人	

(4) 歯科健康診査 [決算額 70,975千円]

歯周疾患の早期発見と予防のため成人歯科健康診査を実施した。なお、平成26年度から受診対象者の年齢を若年層（20歳・25歳）に拡大して実施した。

また、介護予防、窒息や誤えん性肺炎の予防を図るために高齢者歯科健康診査を実施した。

受診者数	成人歯科健康診査（20歳・25歳、30～70歳の偶数歳）	5,392人
	高齢者歯科健康診査（72歳以上の偶数歳）	1,546人

(5) 自殺総合対策推進事業 [決算額 1,550千円]

ア 健康福祉まつり・健康増進フェア

こころの健康づくり（うつ病・自殺予防）のコーナーを設置し、ストレス解消方法やうつおよび自殺に対する正しい知識を周知した。

イ 東京都自殺予防月間（9月・3月）

懸垂幕等の掲出（中央区保健所）、パネル展示（区施設4カ所）、街頭キャンペーン、ポスター掲示（区施設）を行い、自殺に対する正しい理解の推進と、要因となるこころの悩み・多重債務・労働問題などの各種相談窓口を周知した。

ウ ゲートキーパー養成講座

悩んでいる人に気づき、必要な支援につなげ、見守る人材を養成するゲートキーパー養成講座を実施した。

開催数	2回
参加者数	136人

エ 中央区自殺対策協議会

区における自殺対策の推進、自殺対策に関わる関係機関などの連携に関する事項などを協議・検討するため、区、医療機関、関係機関などで構成する「中央区自殺対策協議会」を開催した。

開催数	2回（7月、2月）
-----	-----------

オ 自殺未遂者家族支援リーフレット

区内医療機関などとの連携により、自殺未遂者の家族に対してリーフレットを配布し、相談のできる関係機関などの情報を提供した。

(6) 先天性風しん症候群対策風しん抗体検査および予防接種費用助成

[決算額 8,136千円]

先天性風しん症候群の予防を目的として、19歳以上の妊娠を予定または希望している女性とその同居者、抗体価が十分ではない妊婦の同居者を対象に抗体検査費用の全額助成を実施するとともに、抗体価が十分でなかった方を対象に風しん含有ワクチン接種費用の全額助成を実施した。

助成者数 延886人

(7) 予防接種

[決算額 35,511千円]

ア 高齢者肺炎球菌ワクチン

肺炎の予防を目的として、肺炎球菌ワクチン接種費用の一部助成を実施した。また、平成26年10月以降は予防接種法などに基づく定期予防接種となったため、助成対象者・助成額を一部変更して実施した。

助成対象者 平成26年9月まで ①65歳以上

②60歳以上65歳未満で一定の障害を有する区民

平成26年10月から 65歳以上で定期予防接種の対象ではない区民

※ただし、平成26年度の接種時期は10月から平成27年3月まで

助成額 平成26年9月まで 接種1回につき4,000円

平成26年10月から 接種1回につき4,289円

助成者数 1,501人

イ 水痘(みずぼうそう)ワクチン

水痘・帯状疱疹の予防を目的として、水痘(みずぼうそう)ワクチン接種費用の助成回数および助成額を平成26年度から拡大して実施した。また、平成26年10月以降は予防接種法などに基づく定期予防接種となったため、助成対象者を一部変更して実施した。

助成対象者 平成26年9月まで 1歳～小学校就学前児童(1・2回目接種)

平成26年10月から 3歳～5歳(2回目接種)

5歳～小学校就学前児童(1・2回目接種)

助成額 接種1回につき8,000円(上限)

助成者数 延3,405人

ウ モバイルスケジューラーの導入

接種忘れの防止や乳幼児の保護者の負担軽減を図るため、スマートフォンなどを利用して予防接種スケジュールを自動で作成し、接種日が近づくとメールでお知らせするサービスを開始した。

登録者数 延1,389人

*** 障害者福祉**

(1) 障害児放課後等デイサービスの実施 **[決算額 28,885千円]**

障害児の放課後や夏休みなどにおける居場所の確保を図るため、児童福祉法に基づく放課後等デイサービスを実施した。

対 象 者	区内在住の小学生から高校生までの障害児		
利用定員	1日10人		
場 所	福祉センター2階		
利 用 料	無料（昼食・おやつ代などについては実費を徴収）		
実 施 日	月曜日から土曜日（祝日、年末年始を除く。）		
利用時間	学校休業日		
	夏休み等長期休業日	午前9時～午後6時	
	開校記念日等休業日	午前9時～午後7時	
	その他平日	放 課 後～午後7時	
	土曜日	午前9時～午後6時	
利用状況	登録者数	38人	
	開設日数	292日	
	利用者数	延2,175人	

(2) 障害者就労支援モザイク平板の設置 **[決算額 3,108千円]**

障害のある方が建設廃材を活用して制作したモザイク平板を、区施設の壁面などに設置することにより、障害のある方の自立を支援するとともに、うるおいのあるまちづくりを推進した。

設置場所	明石町緑道、浜町公園デイキャンプ場
施工面積	約20㎡

(3) 精神障害者地域活動支援センター「ポケット中央」の事業拡充 **[決算額 43,569千円]**

在宅の精神障害者が地域において自立した生活を営むことができるよう、相談、日中の居場所、創作的活動などのサービス提供を行う地域活動支援センターについて、職員の増員、訪問支援および精神障害者デイケア事業（中央区保健所から事業移管）の実施などにより事業の拡充を図った。

場 所	中央区保健所5階
開 所 日	月・水・木・土・日曜日（年末年始を除く。）
利用者数	延9,401人（うち精神障害者デイケア事業利用者数 224人）

(4) 障害者ヘルプカードの作成 [決算額 2,152千円]

障害のある方が災害時をはじめとした緊急時などにおいて必要な支援を周囲に求める手段として、緊急連絡先や必要な支援内容などを記載した携帯用「ヘルプカード」のほか、同ヘルプカードの周知・普及を図るため、ヘルプカードに関する事項を記載した冊子「障害者サポートマニュアル」を作成した。

作成物および作成部数

ヘルプカード	7,000枚
災害時メッセージシート（マグネット式）	800枚
バンダナ式ヘルプカード	800枚
ヘルプカードシール	800枚
障害者サポートマニュアル	7,000部

(5) 障害福祉サービス等利用計画の作成 [決算額 14,315千円]

障害者総合支援法（障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律）の施行により、福祉サービスの利用におけるサービス等利用計画の作成が義務付けられたが、区内に計画作成ができる事業者（特定相談支援事業者）が少ないことから、福祉センターの計画相談支援体制を強化し対応した。

相談件数 277件（新規 111件、モニタリング 166件）

(6) 障害者基幹相談支援センター事業の開始 [決算額 12,256千円]

障害の種別、年齢にかかわらず、障害に関するさまざまな相談に対応し、障害者（児）とその家族に対する相談支援の中核的な役割を担うため、平成26年10月1日に「基幹相談支援センター」事業を開始した。

場 所	福祉センター2階
実 施 日	月曜日から金曜日（祝日、年末年始を除く。）
利用時間	午前9時～午後6時
利 用 料	無料
相談件数	96件

(7) **精神障害者グループホームに対する区認定制度の創設** [決算額 3,195千円]

精神障害者が住み慣れた地域で自立した生活を送ることができる環境の充実に図るため、一定の要件を満たす滞在型グループホームを区独自の「支援型グループホーム」と認定し、家賃の助成を行った。

対象施設名 ホームつつじ

所在地 中央区勝どき2丁目9番16号勝関ハイデンス内

事業者 NPO法人つつじ

(8) **中等度難聴児発達支援事業** [決算額 370千円]

身体障害者手帳の交付対象とならない中等度難聴児童に対し、補聴器購入費用の一部を助成することによりコミュニケーション能力などの向上を促進し、健全な発達を支援した。

助成者数 2人

助成件数 3件

*** 高齢者福祉**

(1) **高年齢者合同就職面接会** [決算額 124千円]

おおむね55歳以上の高年齢者の就労機会を拡大するため、高年齢者と求人を希望する区内を中心とした企業との合同就職面接会を「中央区地域雇用問題連絡会議」（区・社会福祉法人中央区社会福祉協議会・公益社団法人中央区シルバー人材センターほか）主催により開催した。

開催日 平成27年2月25日

会場 区役所大会議室

参加企業 15社

来場者数 114人

(2) **高齢者健康づくり事業** [決算額 30,506千円]

高齢者がいつまでも健康であり続けるために、身体機能の維持向上など要介護状態にならないための介護予防に資する健康づくりを推進した。

ア はつらつ健康教室・さわやか健康教室

60歳以上の高齢者で生活機能に低下が認められる方を対象に「はつらつ健康教室」を、低下が認められない方を対象に「さわやか健康教室」を実施した。

はつらつ健康教室参加者数 延2,855人（計288回）

さわやか健康教室参加者数 延2,040人（計288回）

さわやか健康教室ゴムバンドコース参加者数 延775人（計72回）

イ ゆうゆう講座

60歳以上の高齢者で、要支援・要介護認定を受けていない方を対象に、楽しみながら自然と健康づくりにつながる講座を実施した。

参加者数 延706人（計24回）

ウ 訪問健康づくり

通所が困難と思われる方を対象に保健師が居宅を訪問し、生活機能向上に必要な指導・助言を行った。

事業利用呼びかけ電話など 330回

訪問件数 88回

エ さわやか体操リーダーの育成

おおむね50歳以上の区民を対象として、高齢者向けの体操教室で指導などを行うさわやか体操リーダーを育成（初級編6日間・上級編49日間）するとともに、リーダーによる教室を拡大した。

リーダー登録者 16人

上級編受講者 6人（修了者5人）

初級編受講者 10人（修了者8人）

リーダーの体操教室参加者数 延1,869人（計158回）

(3) 敬老大会

[決算額 69,779千円]

「敬老の日」の記念行事の一つとして、70歳以上の高齢者を区内の劇場に招待した。

会場 新橋演舞場

参加者数 7,020人

開催日数 6日

(4) 地域見守り事業支援

[決算額 1,154千円]

ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の方が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、おとしより相談センターを中心とした地域見守りネットワークの拡大を図るため、あんしん協力員による声かけや見守り活動を行う地域団体への支援を行った。

見守り団体数 15団体

見守り対象者数 359人

あんしん協力員数 151人

(5) 高齢者食事サービス [決算額 21,746千円]

調理が困難な70歳以上（要支援・要介護認定を受けた方は65歳以上）のひとり暮らし高齢者・高齢者のみの世帯・日中独居の高齢者に安否確認を兼ねて食事（昼・夕食）を配達した。

配食数 延93,530食（うちエネルギー調整食、たんぱく質調整食 1,494食）

利用者数 延6,513人

(6) 地域密着型特別養護老人ホーム等「ケアサポートセンター十思」等複合施設の整備 [決算額 912,282千円]

十思スクエア敷地内に、高齢者福祉施設として、要介護と認定された高齢者が、身近な地域で安心して生活を送れるよう、地域密着型特別養護老人ホームおよび小規模多機能型居宅介護事業所を、また、十思湯（公衆浴場）、小ホール（地元還元施設）を備えた複合施設の整備を行った。

所在地 中央区日本橋小伝馬町5番19号

施設概要

ア 高齢者福祉施設

地域密着型特別養護老人ホーム

定員 特別養護老人ホーム 29人（10人、10人、9人の3ユニット）

ショートステイ 8人

小規模多機能型居宅介護事業所

登録定員 25人

通い定員 1日15人

宿泊定員 1日9人

開設日 平成26年9月1日

イ 十思湯（公衆浴場）

開設日 平成26年7月14日

ウ 小ホール（地元還元施設）

開設日 平成26年8月1日

(7) 在宅療養支援

[決算額 19,174千円]

ア 在宅療養支援病床の確保

要介護高齢者などが地域で安心して在宅療養を続けられるよう、病状の急変時に速やかな受入れが可能な病床を確保した。

病 床 数 3床 (3カ所)

入院期間 14日以内

利用日数 延708日

イ 在宅療養支援協議会の運営

経管栄養などの医療的ケアを必要とする要介護者を在宅で介護する家族の負担を軽減するとともに、可能な限り在宅での生活を継続できるよう、学識経験者、医療関係団体、主任介護支援専門員などから構成される「中央区在宅療養支援協議会」において、支援のための体制づくりや方策を検討した。

実施回数 2回

協議内容 「中央区在宅医療・介護に関する調査報告」について
在宅療養研修についてなど

ウ 在宅療養支援訪問看護

要介護者などが在宅で療養中の場合や、病院などを退院・退所または外泊する場合に、看護師などが居宅を訪問して療養上の相談や医療的ケアの指導などを行う訪問看護を行った。

派遣回数 18回

利用者数 11人

エ 在宅療養研修

介護サービス事業所を対象に在宅療養に必要な知識や技術の習得・向上を図るための研修を、また区民を対象に在宅療養の意識啓発と情報提供を図るための研修を実施した。

事業所向け 1回

区民向け 2回

(8) ミドルステイ・緊急ショートステイ

[決算額 16,660千円]

ア 特別養護老人ホーム入所申込者の在宅介護を支援するため、連続して1～3カ月（年間上限3カ月）宿泊利用できるミドルステイを実施した。

利用施設 サニーパレス京橋（民間介護付有料老人ホーム）

確保床数 2床

対 象 者 要介護4または5で区内特別養護老人ホームの入所申込者

利用者数 10人

利用日数 延441日

イ 介護者が急病や著しい心身の疲労などで介護にあたれない場合に、緊急に短期入所サービスを民間委託により実施することで、要介護者家族の在宅介護の支援を図った。

利用施設 サニーパレス京橋（民間介護付有料老人ホーム）

確保床数 3床（うち1床は医療ニーズの高い方対応枠）

対 象 者 要介護または要支援の在宅療養者

利用者数 46人（うち11人は医療ニーズの高い方）

利用日数 延405日（うち82日は医療ニーズの高い方）

(9) 巡回型ホームヘルプサービス

[決算額 72,390千円]

ア 24時間対応型

区が介護保険の訪問介護事業所として指定を受け、要介護者などのいる家庭に対して24時間巡回型ホームヘルプサービスを実施した。

利用者数 延419人（高齢者338人、障害者81人）

イ ナイトサポート

区が介護保険の夜間対応型訪問介護事業所として指定を受け、要介護者のいる家庭を対象に夜間における定期巡回および緊急の要請に応じた相談・アドバイスを行うとともに、必要に応じて介護福祉士などを利用者宅へ派遣した。

利用者数 延895人

(10) 高齢者生活援助サービス

[決算額 17,125千円]

要支援・要介護と認定された高齢者に対して、生活援助および院内介助のため、民間事業者ヘルパーを派遣した。

生活援助派遣世帯数 537世帯（派遣回数 延5,774回）

院内介助派遣世帯数 244世帯（派遣回数 延2,281回）

(11) 元気高齢者人材バンク

[決算額 1,425千円]

元気高齢者の社会参加活動を支援するため、ボランティア活動などのコーディネート、技能お披露目会やPR会の実施、ホームページによる情報発信などを行った。

登録者数 93人

活動日数 延92日

活動者数 延350人

技能お披露目会開催回数 7回

PR会開催回数 2回

○健やかな子どもを育むために

* 子育て支援

(1) 新川児童館の移転改築および新施設の開設 [決算額 552,999千円]

施設の老朽化に対応するとともに、施設規模の拡大および子育て支援機能の充実を図るため、明正小学校・明正幼稚園等複合施設の改築にあわせて移転整備した。新たにあかちゃん天国、授乳室、幼児室など乳幼児を対象としたスペースや多目的ホール、工作室、情報交流室など中高生も活用できるスペースを設置するとともに、学童クラブの定員を拡大（1クラブ 40人→2クラブ 70人）した。

また、午後8時まで（小学生以下の利用は午後5時まで）の開館時間延長および日曜開館を開始した。

所在地	中央区新川2丁目13番4号（明正小学校・明正幼稚園との複合施設）
施設規模	児童館部分延床面積 1,839.06㎡
移転開設日	平成26年9月1日

(2) 子どもの居場所「プレディ」の拡大 [決算額 272,905千円]

子どもの健全育成を図るため、放課後などに子どもが安全に安心して過ごせる子どもの居場所「プレディ」を実施した。

平成26年度は日本橋小学校および明正小学校に「プレディ」を開設するとともに、中央小学校で実施していた「放課後子ども広場中央」を「プレディ中央」へ移行し、開設校を12校とした。

開設校 中央小学校、明石小学校、京橋築地小学校、明正小学校、日本橋小学校、有馬小学校、久松小学校、佃島小学校、月島第一小学校、月島第二小学校、月島第三小学校、豊海小学校

(3) 「中央区子ども・子育て支援事業計画」の策定 [決算額 7,104千円]

平成27年度から開始される「子ども・子育て支援新制度」に対応するため、区長の附属機関である「中央区子ども・子育て会議」において審議のうえ、幼児期の学校教育・保育および地域子ども・子育て支援事業の需要量見込とそれに対応する提供体制の確保方を盛り込んだ「中央区子ども・子育て支援事業計画」を策定した。

(4) 認可外保育施設保育料の助成 [決算額 201,594千円]

認証保育所などの認可外保育施設に子どもを預けている保護者の経済的負担の軽減を図るため、施設へ支払う保育料と認可保育所保育料との差額に応じて助成を行った。

助成額	差額に応じ月額1万円から5万円
助成件数	延6,792件

(5) 子ども医療費助成

[決算額 565,279千円]

乳幼児および小・中学生の医療費（通院・入院）を助成した。

ア 医療証発行状況（平成27年3月31日現在）

乳幼児医療証（対象：乳幼児） 9,722人
子ども医療証（対象：小・中学生） 7,418人

イ 助成件数

乳幼児医療 190,785件
子ども医療 110,337件

(6) 新設私立認可保育所への開設準備経費補助

[決算額 611,371千円]

保育所待機児童の解消に向け、新たに私立認可保育所を開設する事業者へ開設準備経費の補助を行い、認可保育所5カ所の開設を支援した。

なお、5カ所のうち3カ所は、待機児童数の多い1歳児の新規受け入れ枠を確保するため、1歳児から5歳児までのクラス編成とした。

平成26年10月1日開設の保育所 1カ所（定員65人拡大）

施設名	つきのみさきさくらさくほいくえん
運営事業者	株式会社ブロッサム
所在地	中央区月島4丁目4番11号
定員	65人（1歳～5歳児）

平成26年12月1日開設の保育所 1カ所（定員130人拡大）

施設名	ほっぺるランド勝どき
運営事業者	株式会社テクノ・コーポレーション
所在地	中央区勝どき3丁目4番4号
定員	130人（0歳～5歳児）

平成27年4月1日開設の保育所 3カ所（定員190人拡大）

施設名	モニカ人形町園	コビープリスクールはこざき	あい保育園日本橋
運営事業者	株式会社モニカ	株式会社コビーアンドアソシエイツ	株式会社アイグラン
所在地	中央区日本橋人形町3丁目7番5号 I K Tビル1階～4階	中央区日本橋箱崎町17番9号 箱崎升喜ビル1階～2階	中央区日本橋富沢町9番10号 稲村ビル1階・地下1階
定員	60人（1歳～5歳児）	70人（1歳～5歳児）	60人（0歳～5歳児）

※認可保育所数および定員

平成26年4月1日 保育所数 30カ所、定員 2,800人

平成27年4月1日（上記5保育所開設および勝どきこども園認可移行後）

保育所数 36カ所、定員 3,308人（同年同日比508人増）

○ 思いやりとふれあいのあるまちのために

* 男女共同参画

(1) ワーク・ライフ・バランス推進企業等の認定

[決算額 4,184千円]

ワーク・ライフ・バランスを推進する中小企業などを認定し、その取組を広く紹介するとともに、アドバイザーの派遣、セミナーの開催により一層の普及促進を図った。

新規認定企業5社、更新認定企業9社（更新は2年毎）、区の認定企業20社

アドバイザー派遣4社

セミナー開催 平成26年9月3日（参加者164人） 10月8日（参加者83人）

2 うるおいのある安全で快適なまちをめざして

○ 住みやすい環境づくり

* 住宅・住環境

(1) 高齢者向け民間賃貸住宅の整備誘導 [決算額 91,804千円]

高齢者の居住安定の確保を図るため、民間事業者による高齢者向け優良賃貸住宅の整備や家賃の減額に要する費用の一部を助成し、質の高い良好な高齢者向け住宅の供給を促進した。

家賃減額助成 3棟 43戸 15,360千円
(既存2棟27戸、新築1棟16戸)

建設費助成 2棟 48戸 76,444千円
(平成26年10月竣工 17戸、平成27年2月竣工 31戸)

* 公園・緑地・水辺

(1) 民間施設の緑化促進 [決算額 8,468千円]

みどり豊かな都市景観の創出やヒートアイランド現象の緩和などを目的として、接道部、地上部および建物の屋上などを一定の割合で緑化するよう指導するとともに、緑化に要する経費の一部を助成した。

また、緑化の普及・啓発を図るため「花と苗木の即売会」を開催し、花・苗木の即売や緑化相談などを行った。

ア 民間施設の緑化助成

緑化助成 19件 8,267千円
樹木等保護育成助成 4件 100千円

イ 花と苗木の即売会

開催4回

(春：あかつき公園、月島第一児童公園 秋：浜町公園、月島第一児童公園)

(2) 水の都プロジェクトの推進

[決算額 12,496千円]

貴重な水辺を区民の憩いの場として活用するため、利便性・安全性に配慮したうるおいのある水辺空間整備に向けた設計を行った。

ア 亀島川護岸整備設計委託

整備箇所 高橋～南高橋（湊側）

実施内容 詳細設計

完了 平成27年3月

イ 朝潮運河護岸上部

整備箇所 朝潮大橋～朝潮橋（月島側）

実施内容 基本設計

完了 平成27年2月

(3) 街路樹の整備

[決算額 5,521千円]

道路整備などにあわせて、地域の意向を踏まえた街路樹の新規植栽や樹種変更を行うなど、緑の拡充を図った。

ア 人にやさしい歩行環境の整備（新規植栽）

整備箇所 中央区京橋1丁目15番先～京橋1丁目19番先

高木植栽 イロハモミジ 20本

イ 道路の改修工事（新規植栽）

整備箇所 中央区日本橋本石町4丁目4番先～日本橋本石町4丁目6番先

高木植栽 サクラ（アマノガワ） 9本

(4) 公園の改修

[決算額 116,954千円]

区民のレクリエーションや憩いの場などを充実させるため、公園の改修を行った。

ア 数寄屋橋公園・久松児童公園・豊海運動公園・豊海児童公園の設計

実施内容 基本設計・実施設計

完了 平成27年3月

イ 十思公園の改修

施工面積 2,084.26㎡

整備内容 擁壁工 1式、LED照明 7基、ソーラー照明 1基、

複合遊具 1基、かまどベンチ 3基、ベンチ 7基、

園路舗装工 1式 ほか

高木植栽 ケヤキ 2本、ソメイヨシノ 2本、イロハモミジ 1本

中低木植栽 アセビ・ツツジ・ジンチョウゲほか 613本

地被植栽 フッキソウ・ツワブキほか 593株

完 成 平成26年8月

ウ 常盤公園の改修

施工面積 1,420.35㎡

整備内容 擁壁工 1式、LED照明 4基、ベンチ 2基、スツール 4基、
ブランコ 1基、コンクリート系舗装工 276.3㎡、
ダスト舗装工 37.0㎡ ほか

高木植栽 アキニレ・イロハモミジ・シダレザクラほか 8本

中低木植栽 シモクレン・ヒイラギナンテン・ツツジほか 586本

地被植栽 アベリア・ヘデラカナリエンス 80株

完 成 平成27年3月

(5) 築地川亀井橋公園のバリアフリー化

[決算額 3,510千円]

すべての人が施設を円滑に利用できるようにするため、出入口スロープの改修設計を行った。

設計箇所 中央区築地1丁目6番1号先

実施内容 基本設計・実施設計

完 了 平成27年2月

○ 地球にやさしい環境づくり

* 環境保全

(1) 区施設の設備運用改善による省エネルギーの取組 [決算額 5,997千円]

区施設の設備運用改善による省エネルギー化に取り組むため、2施設(中央区保健所等複合施設・月島第三小学校等複合施設)をモデル施設として作成した運用マニュアルの検証を行うとともに、全施設に適用する「中央区施設管理マニュアル」を作成した。

(2) 自然エネルギーおよび省エネルギー機器等導入費助成 [決算額 19,497千円]

地球温暖化対策として、自然エネルギー・省エネルギー機器などの普及を促進するため、区内の住宅および事業所の機器導入に対して費用の助成を行った。

助成実績

住宅用	燃料電池給湯器(エネファーム)	4件
	高反射率塗料等	14件
共同住宅共用部用	LEDランプ	18件
	高反射率塗料等	1件
事業所用	エアコンディショナー	35件
	LEDランプ	37件
	その他省エネルギー機器	1件

(3) 照明灯のLED化 [決算額 75,002千円]

地球温暖化対策の一環として、環境に配慮したLEDランプを公園灯および街路灯に導入した。

公園灯整備	17基
街路灯整備	369基

(4) 「中央区の森」の間伐材を活用したベンチ整備 [決算額 2,473千円]

「中央区の森」の間伐材を使用したベンチを製作し、公園に設置した。

ベンチ整備 10基(堀留児童公園、佃公園、晴海第一公園、新金橋児童遊園)

(5) 地域クリーンパトロールの展開 [決算額 40,325千円]

歩きたばこやポイ捨てを防止するため、主要交差点や駅周辺を中心とした区内全域において巡回指導を行った。また、歩きたばこが多い交差点を中心に、町会や事業所などと連携して街頭キャンペーンを実施した。

巡回指導実施日 毎日（年末年始を除く。） 午前7時～午後7時

巡回体制 2人1班の7班体制

(6) 緑化表彰制度の創設 [決算額 65千円]

緑化活動に貢献した区民や団体などの顕著な取組をたたえとともに、緑化活動の充実や緑化の普及・啓発を図るため、緑化表彰制度を創設し、個人および団体を表彰した。

緑化表彰 個人および団体 6件

* 循環型社会

(1) リサイクル事業の普及・啓発 [決算額 1,924千円]

3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進をはじめ、環境問題全般について、子どもから大人まで楽しみながら学ぶ「エコまつり」を開催した。エコまつりは、環境意識の向上などを図るため、フリーマーケットと同時開催するとともに、区内の小・中学校などから排出された生ごみの堆肥により栽培した野菜（キャベツ）などの販売を行った。また、フリーマーケットについては、区内の公園で3回開催した。

ア エコまつり

実施日 平成26年6月1日

会場 あかつき公園

来場者数 約2,500人

実施内容 リサイクル自転車の販売、「中央区の森」の間伐材を活用したワークショップなど全19ブース

イ フリーマーケット

会場 あかつき公園（エコまつりと同時開催、70店舗出店）

月島第二児童公園（平成26年9月27日開催、76店舗出店）

浜町公園（平成26年11月8日開催、72店舗出店）

(2) 土のリサイクル [決算額 3,389千円]

家庭で不用になった園芸用土の拠点回収を全小学校および銀座中学校・日本橋中学校で実施するとともに、再生した土は苗木即売会などで無償配布した。

回収実績 15,580kg

配布実績 9,685kg

(3) 資源持ち去り防止対策 [決算額 5,450千円]

ア 資源持ち去り防止パトロールの実施

区民が安心して資源物を排出できる環境を確保するため、資源持ち去り防止パトロールを実施した。

パトロール実施日 月曜日～土曜日（年末年始を除く。）

イ G P S 端末器による古紙持ち去り追跡調査の実施

古紙の持ち去り行為撲滅に向けて、平成26年12月、古紙直納問屋の組合、製紙メーカーの団体および資源回収事業者の組合と覚書を締結し、平成27年3月からG P S 端末器による追跡調査を実施した。

ウ びん・缶用コンテナへの警告文の表示

警告文を表示したびん・缶用コンテナを製作し、集積所へ配置した。

びん・缶用コンテナ製作数 650個

エ 新聞回収袋の配布

区へ排出したことを明示した新聞回収袋を区役所、中央清掃事務所、日本橋・月島特別出張所、京橋・日本橋・月島図書館で配布した。

新聞回収袋作成枚数 34,000枚

(4) 資源再利用（リサイクル）の推進 [決算額 520,445千円]

ア 集団回収の支援

地域のリサイクル活動を推進するため、リサイクル活動団体に対する助成を行った。

登録団体数 229団体

回収実績 4,696,585kg

イ 拠点回収

公共施設において牛乳パック、食品用発泡スチロールトレイ、乾電池、布類の回収を行ったほか、毎週土曜日に全小学校および銀座中学校・日本橋中学校で廃食用油、布類、牛乳パック、食品用発泡スチロールトレイ、蛍光管、乾電池のほか、新たに小型家電（12品目）の回収を行った。また、回収協力店でペットボトルの回収を行った。

回収実績 163,737kg（うち小型家電 503.4kg）

ウ 集積所回収

集積所で紙類、びん、缶、スプレー缶、カセットコンロ用ガスボンベ、ペットボトル、プラスチック製容器包装、金属製のなべ・やかん・フライパンの回収を行った。

回収実績 6,469,455kg

○ 都心にふさわしい都市の基盤づくり

* 道路・交通

(1) 橋りょう長寿命化修繕工事 [決算額 71,855千円]

橋りょうの安全性の確保や長寿命化を図るため、「中央区橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、橋りょうの修繕工事を行った。

ア 松幡橋

所在地 中央区八丁堀3丁目2番先～京橋2丁目17番先

実施内容 塗装工、橋面防水・舗装工、横断防止柵設置工

イ 宝橋

所在地 中央区八丁堀3丁目1番先～京橋1丁目19番先

実施内容 桁補修工、床版補修工、橋台補修工、橋脚補修工

ウ 南高橋

所在地 中央区新川2丁目31番先～湊1丁目8番先

実施内容 縦桁支承部補修工

(2) 橋梁長寿命化修繕計画の改定 [決算額 6,080千円]

健全度調査の結果や修繕工事の履歴の蓄積結果を踏まえ、平成21年度に策定した「中央区橋梁長寿命化修繕計画」の改定を行った。

(3) 道路ストック総点検 [決算額 48,884千円]

安全で安心な道路環境の保全のため、道路や橋りょうの点検を実施した。

ア 道路点検

路面下空洞化調査 車道 15,000m、歩道 5,000m

路面性状点検 区内全域区道 4回

標識・地点名標識点検 規制案内標識 24基、地点名標識 122基

街路灯点検 1,468基

浜町隧道点検 本体目視観察 12回

人形町共同溝耐震点検 構造躯体調査、耐震照査

イ 橋りょう点検

橋りょう健全度調査 5橋

首都高速道路上橋りょう点検 14橋

河川・運河上橋りょう点検 16橋

(4) 昭和通り銀座歩道橋昇降機の改修 [決算額 18,378千円]

昭和通り銀座歩道橋のエスカレーターについて、老朽化への対応およびバリアフリー機能の向上を図るため、エレベーター新設の詳細設計を行った。

所在地 中央区銀座7丁目13番先～銀座8丁目14番先
実施内容 詳細設計

(5) 新島橋の架替 [決算額 206,786千円]

旧橋を撤去するため、朝潮運河側に仮設橋りょうの設置を行った。

新橋概要

所在地 中央区勝どき4丁目13番先～勝どき5丁目2番先
規模 橋長 48.3m、幅員 36.0m～41.0m
完成 平成32年3月予定

(6) 環境にやさしい道路の整備 [決算額 52,622千円]

道路交通による騒音の抑制や雨水の地中への浸透、ヒートアイランド現象の緩和などを行うため、環境にやさしい道路整備を行った。

ア 低騒音舗装

中央区八丁堀1丁目2番先～八丁堀2丁目6番先
整備延長 100m 車道舗装 1,626m²

イ 遮熱性舗装

中央区日本橋小伝馬町3番先～日本橋小伝馬町7番先
整備延長 130m 車道舗装 1,630m²

ウ 透水性舗装

- ・中央区京橋2丁目5番先～京橋2丁目6番先
整備延長 160m 車道舗装 355m²
- ・中央区八丁堀4丁目6番先～八丁堀4丁目5番先
整備延長 70m 車道舗装 154m²

(7) にぎわいのある道路の整備 [決算額 21,492千円]

にぎわいを創出する道路空間の形成を目的として、カラー舗装やデザイン灯の整備など、商業・観光振興に資する道路整備を行った。

中央区日本橋馬喰町1丁目5番先～日本橋横山町3番先
整備延長 90m 車道舗装 465m²

(8) 駐輪場の整備

[決算額 16,937千円]

平成25年度に実施した駐輪場整備に向けた調査・検討を踏まえ、東京駅周辺の放置自転車対策として、駅周辺の歩道上に民設民営による一時利用駐輪場9カ所361台の整備を行った。

(9) 電線共同溝の整備

[決算額 410,014千円]

災害に強い都市基盤の整備や安全で円滑な道路交通の確保、都市景観の向上を図るため、電線共同溝の整備を行った。

ア 整備地区

- ・中央区築地6丁目16番先～築地7丁目18番先

実施内容 本体整備、移設補償

整備延長 320m

- ・中央区湊1丁目11番先～湊1丁目12番先

実施内容 本体整備、移設補償

整備延長 90m

- ・中央区湊2丁目9番先～湊2丁目12番先

実施内容 本体整備、移設補償

整備延長 120m

- ・中央区勝どき2丁目1番先～勝どき2丁目3番先

実施内容 本体整備、移設補償

整備延長 420m

- ・中央区日本橋茅場町1丁目8番先～茅場町2丁目10番先

実施内容 移設補償

整備延長 400m

イ 設計

- ・中央区築地6丁目16番先～築地7丁目18番先

実施内容 引込・連系管路設計

- ・中央区湊2丁目地区

実施内容 引込・連系管路設計

- ・中央区勝どき2丁目地区

実施内容 引込・連系管路設計

- ・中央区日本橋堀留町2丁目3番先～日本橋久松町13番先

実施内容 埋設物調査

(10) 人にやさしい歩行環境の整備

[決算額 114,659千円]

高齢者や障害者を含むすべての人が、安全・安心・快適に利用できるように、歩道の拡幅やバリアフリー化(歩道の平坦化)のほか、街路照明や街路樹などの整備を行った。

ア 中央区京橋1丁目15番先～京橋1丁目19番先

整備内容 歩道拡幅および平坦化 整備延長 180m

街路照明整備(デザイン灯) 4基

高木植栽(イロハモミジ) 20本

イ 中央区湊1丁目11番先～湊1丁目12番先

整備内容 歩道拡幅 整備延長 90m

街路照明整備(デザイン灯) 1基

ウ 中央区湊2丁目9番先～湊2丁目12番先

整備内容 歩道平坦化 整備延長 120m

街路照明整備(デザイン灯) 2基

エ 中央区築地1丁目1番先～築地1丁目6番先

整備内容 歩道拡幅および平坦化 整備延長 120m

街路照明整備(デザイン灯) 4基

オ 中央区勝どき2丁目1番先～勝どき2丁目3番先

整備内容 歩道新設 整備延長 220m

街路照明整備(デザイン灯) 7基

(11) 歩行者専用橋の整備

[決算額 199,205千円]

朝潮運河歩行者専用橋の整備として、晴海側に仮栈橋を設置した。

新橋概要

所在地 中央区勝どき2丁目2番先～晴海1丁目8番先

規模 橋長 87.8m、幅員 4.5m～5.5m

完成 平成29年3月予定

(12) 地下鉄計画検討調査

[決算額 9,910千円]

オリンピック後の選手村の住宅転用や臨海副都心の開発需要に伴う、交通需要の増大や交通弱者の移動支援など、都市交通の課題解決に向け、都心部と臨海部を結ぶ、地下鉄新線検討調査を実施した。

調査内容 検討対象地域の現状と将来
将来を見据えた路線整備の意義・必要性の検討
概略建設計画の検討
運行計画の想定
事業主体・制度・運賃計画の想定
収支採算性の概略検討など

(13) 基幹的交通システム（ＢＲＴ）の導入

[決算額 3,125千円]

都心と勝どき・晴海地区などの臨海部を結ぶ、基幹的交通システム（ＢＲＴ）の導入に向け、検討を行った。

なお、ＢＲＴの導入については、東京都が主体となって実施することになったため、東京都が設置した協議会に参加し、平成27年4月の基本計画作成に向けて検討を進めた。

* 防災・危機管理

(1) 防災拠点運営委員会への支援

[決算額 14,507千円]

災害時の円滑な防災拠点の運営や、平常時の防災対策を推進するため「防災拠点運営委員会」（21委員会）の活動を支援した。

運営支援

委員会開催（21委員会） 67回

防災拠点活動マニュアルの更新 5拠点

（京橋プラザ、京華スクエア、京橋築地小学校、明正小学校、十思スクエア）

拠点ごとの住民向け防災拠点からのお知らせ作成・配布（21委員会）

防災拠点運営委員会連絡会議の開催 1回

(2) 防災拠点運営委員会訓練 [決算額 11,873千円]

防災拠点運営委員会が自ら企画して実施する防災訓練を支援した。

実施場所	各防災拠点（21委員会）
参加者数	2,539人
主な訓練内容	避難所開設・運営訓練、初期消火・放水訓練、資器材操作訓練、 AED・応急救護訓練、起震車による地震体験など

(3) 女性等に配慮した備蓄品の整備 [決算額 1,630千円]

東日本大震災の教訓を受け、女性などに配慮した避難所運営を行うための備蓄品を新規購入し、各防災拠点に配備した。

ア 身の安全の確保

LED電灯	105個
防犯ブザー	197個

イ 女性用更衣室の設置

カーテン	42枚
------	-----

ウ 洗濯物干し場の設置

洗面器	2,914個
物干し	2,914個
細綱	1,457本

(4) マンホールトイレの設置 [決算額 12,561千円]

東京都が平成24年4月に公表した「首都直下地震等による東京の被害想定」において避難者数が増加したことを受け、トイレ機能の充実を図るため、十思スクエアおよび月島区民センター敷地内にマンホールトイレ（各5カ所）を設置した。

(5) 防災対策優良マンション認定制度の創設 [決算額 一 千円]

マンションにおける防災対策の一層の推進とコミュニティの醸成を図るため、防災組織の設置や防災マニュアルの作成など、一定の条件を満たすマンションを「中央区防災対策優良マンション」と認定し、認定証を交付するとともに、防災資器材などの助成を行う制度を新たに創設した。

ア 対象

住宅の戸数が10戸以上のマンション

イ 認定要件

- ・ 防災組織を設置していること。
- ・ 防災マニュアルを作成していること。
- ・ 防災訓練を実施していること。
- ・ 地域との連携が図られていること。

ウ 助成内容

防災訓練経費助成 年額上限5万円

防災資器材の供与 1棟30万円相当

※防災区民組織を結成しているマンションを除く。

エ 実績

認定マンション 28棟

(6) 高層住宅防災対策DVDの製作 [決算額 7,024千円]

平成19年度に作成した高層住宅居住者向け防災対策DVDについて、東日本大震災の教訓や東京都が平成24年に新たに公表した首都直下地震の被害想定、さらにマンション防災対策の新しい取組をもとに見直しを行い、「備えて安心！マンション防災～震災時にも住み続けられる高層住宅～」を新たに作成した。

ア 主な内容

- ・ 地震発生直後の高層住宅内の様子や必要な活動
- ・ 居住者による防災マニュアルを用いた安否確認や救護などの様子
- ・ 各家庭での備蓄や家具類転倒防止対策の紹介
- ・ 長周期地震動のイメージ
- ・ 区の高層住宅防災対策事業の紹介

イ 作成枚数

250枚

ウ 貸出場所

防災課（区役所1階）窓口

エ 貸出対象

区内マンション居住者、管理組合、自治会、管理会社その他防災に関心のある方

(7) 安全・安心メール

[決算額 2,381千円]

本区における気象情報、地震情報、犯罪情報、消費生活情報および緊急情報を区民へ速やかに提供するため、メール配信を希望し携帯電話やパソコンのメールアドレスを登録した区民などに対し、情報を配信するシステムを運用した。

なお、平成26年度は新たに気象の特別警報、竜巻注意情報の配信を行うため、システムの改修を行った。

配信メール登録件数 4,583件

(8) 帰宅困難者支援施設運営協議会への支援

[決算額 4,630千円]

災害時において帰宅困難者一時滞在施設等に来街者などの帰宅困難者を受け入れるため、民間事業者が主体となって運営にあたる「中央区帰宅困難者支援施設運営協議会」（平成24年10月23日に設立）の運営支援を行っている。

平成26年度は事業所のテナントビルをモデル施設として訓練（施設間連携、施設運営連携、鉄道連携）、検証を行い、テナントビルにおいて帰宅困難者を受け入れた場合の運営方法などを施設運営計画書と帰宅困難者受入マニュアルに追記した。

幹事会の開催	6回
分科会の開催	3回
訓練ワーキングの開催	2回
訓練ミニワーキングの開催	4回
帰宅困難者の受入訓練の開催	1回
帰宅困難者支援施設運営協議会総会の開催	1回

(9) 帰宅困難者対策条例に基づく備蓄品の整備

[決算額 27,023千円]

平成25年4月1日から「東京都帰宅困難者対策条例」が施行されたことに伴い、本区では平成27年度までの3カ年で備蓄品を整備することとし、平成26年度においても引き続き区の業務従事者をはじめ、学校、保育所など子育て施設の児童等および施設来所者用に食料や飲料水、毛布、簡易トイレなどを備蓄した。

(10) 住宅・建築物の耐震化助成

[決算額 1,602,919千円]

昭和56年の建築基準法改正以前の建築物の耐震性を向上するため、住宅やマンションおよび業務商業建築物の耐震改修などに要する費用の一部または全額を助成した。また、災害時における物資輸送路などを確保するため、緊急輸送道路沿道などの建築物についても費用の一部または全額を助成した。

ア 民間建築物の耐震改修などに要する費用の助成

・木造建築物

住宅	耐震診断・補強計画	85件	20,372千円
	耐震補強工事	23件	74,988千円
	簡易補強工事	18件	21,485千円
業務商業建築物	耐震診断・補強計画	3件	452千円

・木造以外の建築物

住宅	耐震診断	2件	966千円
分譲マンション	耐震診断	6件	11,542千円
賃貸マンション	耐震診断	2件	2,446千円
業務商業建築物	耐震診断	9件	4,500千円
分譲マンション	補強設計	1件	2,000千円

・緊急輸送道路沿道などの建築物（木造以外の建築物）

分譲マンション	耐震診断	1件	2,719千円
業務商業建築物	耐震診断	4件	4,000千円
住宅	補強設計	3件	987千円
分譲マンション	補強設計	1件	2,000千円
賃貸マンション	補強設計	1件	1,000千円
住宅	耐震補強工事	1件	1,181千円

・特定緊急輸送道路沿道の建築物

耐震診断	22件	58,200千円
補強設計	7件	7,960千円
耐震補強工事	15件	771,704千円
除却	5件	232,871千円
建替え	11件	375,476千円

イ 木造建築物補強計画内容確認等業務委託

(11) 災害時対応型公衆便所の整備 [決算額 93,763千円]

老朽化した公衆便所の改修に併せて、地震などによりライフラインが停止した場合でも利用可能な地下ピット式の構造に整備した。

月島三丁目児童遊園内公衆便所

所在地 中央区月島3丁目1番1号先

完 成 平成26年11月

常盤公園内公衆便所

所在地 中央区日本橋本石町4丁目4番3号

完 成 平成27年1月

新京橋際公衆便所

所在地 中央区京橋3丁目11番8号

完 成 平成27年3月

(12) 安全・安心おまかせ出前相談と住まいの防犯対策助成 [決算額 64千円]

個人の住まいに防犯アドバイザーを派遣し、防犯に関する相談を受け、助言・指導を行った。また、安全・安心おまかせ出前相談を受けた区民が防犯アドバイザーのアドバイスに沿って、住居の玄関・窓などに防犯対策を行った場合に、その費用の1/2（上限額1万円）を助成した。

防犯アドバイザー派遣件数 5件

防犯対策助成件数 1件

(13) 防犯設備設置費助成 [決算額 14,370千円]

防犯に関する相談を受け派遣希望のあった町会・自治会などに区から防犯アドバイザーを派遣し、周辺環境の説明や防犯設備設置に係るアドバイスをを行った。その後、アドバイスに基づき防犯設備を設置した場合に、町会・自治会にはその費用の2/3（上限額200万円）を、町会・自治会と協力して実施する商店会にはその費用の2/3（上限額600万円）を、マンション管理組合などにはその費用の1/2（上限額50万円）を助成した。

なお、東京都の助成制度を活用した町会と商店会との協力実施には、その費用の5/6（上限額750万円）を助成した。

防犯設備設置費助成件数 17件（うち東京都の助成制度活用 1件）

(14) 新型インフルエンザ等対策行動計画の策定 [決算額 180千円]

新型インフルエンザ等対策特別措置法（平成24年法律第31号）に基づく中央区新型インフルエンザ等対策行動計画を新たに策定した。

*** 地域整備**

(1) 名橋「日本橋」上空の首都高速道路撤去および日本橋再生に向けたまちづくり

[決算額 7,948千円]

日本橋川再生の実現と川沿いの一体的なまちづくりの推進に向けて、東京駅前地区などとの地域連携を図るとともに、日本橋川沿いでの大規模開発などの機会を通じたまちづくりを進めていく際の各プロジェクト間での連携やネットワーク構築などの考え方を示すまちづくりビジョン作成の検討を行った。

また、国際競争力強化につながるまちづくりが求められている東京駅前地区については、路上待機バス対策のため、バスターミナル導入に必要な機能や整備計画および実用などに向けた検討を行った。

日本橋再生協議会 開催回数 2回

(2) まちづくり支援事業（コミュニティ・ファンド）

[決算額 680,452千円]

中央区市街地開発事業指導要綱に基づく、大規模開発などの事業者の協力による開発協力を原資として、事業区域内の区民の居住継続や地域環境整備活動などの援助を行うことにより、地域の個性を生かしたまちづくりの実現を推進した。

支援事業および援助額

居住継続援助事業	480,018千円
地域環境整備活動等援助事業	2,874千円
特定地域環境整備活動等援助事業（湊二丁目東地区）	197,560千円

(3) 築地場外市場地区先行営業施設の整備・開設準備

[決算額 772,263千円]

平成28年11月に予定されている築地市場の豊洲新市場への移転を踏まえ、市場移転後も食文化の拠点である「築地」の活気とにぎわいを継承し発展させるため、小田原橋臨時駐車場跡地などに整備する生鮮食料品の店舗施設の本体工事に8月から着手した（平成27年度末竣工予定）。

開設準備については、選考により5月に入居者を内定するとともに、入居内定者による「築地新市場入居者開業準備協議会」を10月に設立し、開業に向けて進めている。

(4) 晴海地区将来ビジョンの策定

[決算額 7,000千円]

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会で選手村などの建設が予定されている晴海地区では、大会後の将来を見据えた将来像の構築に向け、地元組織からの推薦者と晴海地区の区民の公募者で構成される「晴海地区将来ビジョン検討委員会」において検討を行った。

晴海地区将来ビジョンの作成では、晴海地区の将来像とともにその実現に向けた取組項目や進め方について整理し、平成26年12月に取りまとめを行った。

晴海地区将来ビジョン検討委員会 開催回数 7回

(5) **都市再生土地区画整理事業助成** [決算額 711,416千円]

道路などの公共施設の整備・改善を行い、土地の区画を整え宅地利用の増進を図り、合理的かつ健全な土地利用を促進することにより、防災性の向上、土地の有効高度利用などを推進するため、市街地再開発事業と一体的に土地区画整理事業を行う施行者に対し、事業費の一部を助成した。

助成地区および助成額

湊二丁目東地区 711,416千円

(6) **市街地再開発事業助成** [決算額 7,616,965千円]

市街地における土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新および住宅・住環境の改善を図り、良好な定住型住宅の供給を促進するため、市街地再開発事業者に対し、事業費の一部を助成した。

また、社会経済状況の急激な悪化により、進捗が停滞している市街地再開発事業などについて、緊急的な上乗せ助成を行い事業の進捗を図った。

助成地区および助成額

ア 市街地再開発事業助成

月島一丁目3、4、5番地区	2,982,800千円
京橋二丁目西地区	854,200千円
勝どき五丁目地区	1,626,800千円
湊二丁目東地区	1,243,400千円
銀座六丁目10地区	210,800千円
月島一丁目西仲通り地区	9,200千円
勝どき東地区	130,200千円

イ 市街地再開発事業助成（都市・地域再生緊急促進事業）

湊二丁目東地区	51,520千円
銀座六丁目10地区	300,000千円
京橋二丁目西地区	208,045千円

3 にぎわいとふれあいのある躍動するまちをめざして

○ にぎわいと活力のある産業のまちづくり

* 商店街振興

(1) 観光商業まつり [決算額 41,869千円]

都心における代表的観光商業地区である本区の特性を生かし、区内全商業者が一体となって観光客の誘致を促進するとともに、商業意欲の高揚を図るための各種イベントを実施した。

実施期間 平成26年10月1日～11月5日

(2) お江戸文化村in浜離宮恩賜庭園の実施 [決算額 17,919千円]

中央区商店街連合会が浜離宮恩賜庭園において、江戸時代をテーマとした飲食物や物品の販売、伝統芸能の上演を行うとともに、商店街連合会加盟46店舗で利用できるクーポンブックを来園者に配布し、区内商店街の集客力強化を図った。

実施期間

平成26年4月19日・20日

実施内容

商店会各店舗によるお江戸にぎわい出店コーナー（飲食および物販）

お江戸すてーじ（和太鼓、江戸太神楽、殺陣演舞、狂言ワークショップ）

園内散策ツアー

(3) 商店街支援事業補助 [決算額 207,937千円]

ア イベント事業

商店街が自らの宣伝などを目的として実施する事業に対し、その費用の一部を補助した。

補助件数 37件

イ ビジョン実現事業

中央区商店街連合会に加盟している商店街が、自ら作成した振興計画に基づき行う事業に対し、その費用の一部を補助した。

補助対象事業

フードマーケット整備事業 1商店街

イルミネーションリニューアル等事業 1商店街

ウ 地域協力事業

中央区商店街連合会に加盟している商店街が、町会・自治会、特定非営利活動法人などと協力して実施する事業に対し、その費用の一部を補助した。

補助対象事業

地域協カイベント事業 2件

地域協力活性化事業（街路灯設置事業） 1商店街

(4) 商店街振興プランの策定

[決算額 9,254千円]

中央区商店街振興プランの策定に向け、統計資料分析、商店街へのヒアリング、各種アンケート調査を実施したほか、商店街関係者との意見交換の場を設け、区内商店街の現状把握と課題整理を行った。

実施内容

統計資料分析

商店街代表者ヒアリングおよびアンケート調査

商店街個店経営者アンケート調査

策定委員会の開催 2回

地区検討会の開催 延18回

(5) 商店街美化促進事業補助

[決算額 16,514千円]

個性と魅力を持つ活力ある地域商店街づくりを積極的に支援するため、商店街が自ら整備を行った歩道・街路灯などの維持・管理に対し補助を行っている。

近年商店街において無線LANや無線通信型スピーカーなどの設置が進んでいることから、既存の街路灯電気料補助に加え、平成26年度から新たに通信料を補助対象に追加し、その費用の一部を助成した。

補助対象事業

施設運営費補助（街路灯電気料） 30商店街

施設運営費補助（通信料） 1商店街

歩道等補修補助 2商店街

街路灯清掃補助 17商店街

(6) 共通買物券の発行 [決算額 580,968千円]

区内の消費を一層刺激して地域経済の活性化を図るため、共通買物券を発行し、一冊1万1千円分（5百円券22枚つづり）を1万円で販売した。

販売日 平成26年6月15日

販売場所 区役所、日本橋区民センター、月島区民センター、勝どき区民館、
晴海区民館

発行総額 5億5千万円

* 産業振興

(1) 中小企業振興補助 [決算額 6,156千円]

区内中小企業の振興を図るため、ホームページの新規作成・変更に係る経費や、販路拡大のための展示会出展に係る経費の一部を補助した。

ア ホームページ作成費補助（限度額5万円）

交付件数 37件 1,786千円

イ 展示会等出展費補助（限度額15万円）

交付件数 31件 4,370千円

(2) 産業文化展 [決算額 37,112千円]

本区における産業活動について、その歴史的歩みや現状、未来への展望などを広く紹介し、区内産業の振興、発展に寄与するとともに、青少年に対する「地域産業教育」に役立てるためのイベントを実施した。（隔年実施）

実施期間 平成26年11月2日～11月5日

実施場所 晴海トリトンスクエア

来場者数 延58,000人

(3) 日本橋問屋街活性化事業支援 [決算額 2,867千円]

問屋街活性化委員会が行ってきた活性化事業の実績、成果などを踏まえ、日本橋問屋街のさらなる再生と活性化を図るため情報発信に関する事業、広報事業、文化服装学院との産学連携による人材育成などの活性化事業に対する支援を行った。

事業内容

ア 中国語版問屋街ガイドブック改訂版作成

イ 秘書サービス付き中国語版ホームページの運営

ウ 「横山町問屋新聞」「問屋街案内マップ」の発行

エ ホームページでのイベント案内・売出案内など各種情報の更新や問屋街説明文の英語版および中国語版の掲載

オ 講演会の開催

カ 文化服装学院との産学連携事業の実施

公開講座（オープンカレッジ）

学生の間屋街研修（現金問屋の概論講義、タウンウォッチ）

問屋街商品を使ったファッションコーディネート写真パネル展示

(4) 商工業融資

[決算額 2,399,910千円]

区内中小企業の経営の安定と近代化、合理化を促進し、地域商工業のより一層の振興を図るため、次のとおり各種資金の融資あっ旋、信用保証料補助および利子補給を実施した。

また、東京都制度融資（経営セーフ・災害緊急）を利用した小規模企業者に対して、信用保証料の一部を補助（限度額30万円）するとともに、商工会議所の推薦により、日本政策金融公庫が無担保・無保証人で融資する経営改善資金融資（マル経融資）の利子支払額の一部を補助した。

ア 貸付件数および貸付額

制 度 名	件 数	金額（千円）
運転資金融資	171	1,867,250
設備資金融資	16	168,500
小規模企業資金融資	86	784,000
年末特別資金融資	5	13,200
小口資金融資	258	1,108,210
創造支援資金融資	42	225,780
店舗・工場等小規模再開発資金融資	0	0
災害復旧資金融資	0	0
経営改善支援資金融資	204	2,118,500
団体資金融資	0	0
小規模企業特例緊急運転資金融資	14	37,100
区融資一本化資金融資	11	104,219
計	807	6,426,759

イ 信用保証料補助

区制度融資分 813件 132,264千円

都制度融資分（経営セーフ・災害緊急） 6件 1,125千円

ウ 利子補給 34,930件 749,597千円

エ 経営改善資金融資利子補助 580件 12,614千円

(5) 若年者合同就職面接会 [決算額 253千円]

若年者と求人を希望する企業との合同就職面接会を開催し、若年者の就労の機会を確保するとともに、中小企業の人材確保の場を提供した。

実施日 平成26年12月10日

面接者数 延59人

求人数 23人

参加企業 15社

採用者数 8人

(6) 職業相談・就職ミニ面接会 [決算額 527千円]

ハローワーク飯田橋との連携により、職業相談および就職ミニ面接会を開催し、区民などの就労支援と雇用の安定化を図った。また、平成26年度から毎月第2火曜日に臨床心理士による心理カウンセリングを導入し充実を図った。

実施日 毎月第2・4火曜日

面接者数 延346人

参加企業 52社

職業相談件数 39件

インターネット求人検索利用者数 18件

採用者数 37人

心理カウンセリング参加者数 17人（うち区民10人）

* 観光

(1) 「お江戸満喫まち歩き」舟運ツアーの実施 [決算額 ー 千円]

中央区観光協会が、観光庁の補助を受けて「お江戸満喫まち歩き」舟運モニターツアーを実施し、江東区と連携したルート開発や舟運観光の魅力発信、ガイドの育成などを行った。

実施日 平成26年6月28日、10月11日

参加者数 53人

(2) まち歩き観光地図アプリ「中央区まち歩きマップ」 [決算額 3,065千円]

中央区観光協会が、スマートフォンやタブレット端末用の観光地図アプリ「中央区まち歩きマップ」の無料配信を行った。平成26年度は、古地図や観光スポットの追加を行うなど内容を充実させ、国内外からの観光客の利便性向上を図った。

対応OS iOS、Android

地図言語 日本語、英語

○ いきいきと学び豊かな個性を育むまちづくり

* 学校教育

(1) 学習意欲の向上と学習習慣の定着 [決算額 5,883千円]

小学校第4・6学年と中学校第1・3学年で「学習力サポートテスト」とともに「意識調査」を実施し、その結果に基づいて個人別の診断カルテを作成・配布することで、児童・生徒の学習意欲と学力の向上を図った。

なお、小学校第5学年と中学校第2学年については、東京都が実施する学力調査結果を活用した。

また、「自主学習支援テキスト」を活用し、基礎的・基本的な学習内容の定着、学力の向上および家庭での学習習慣の定着を図った。

調査実施日 平成26年5月2日

(2) 小学校の学力向上対策 [決算額 63,294千円]

基礎的学習の積み重ねが特に重視される算数について、非常勤講師を全校に配置して、習熟度別指導・個別指導を実施するとともに、より一層の理科授業の充実および活性化を図るため、実験や観察などにおいて教員の支援を行う理科支援員を配置した。

また、放課後や土曜日、夏季休業期間中など、各校の実情に応じた効率的な補習を行い、基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を図った。

ア 非常勤講師（算数）の配置

小学校16校 各1人配置（佃島小学校は大規模校のため2人）

イ 理科支援員の配置

小学校16校 第5・6学年の全学級（1学級当たり150時間）

(3) 中学校の学力向上対策 [決算額 72,443千円]

国語・数学・英語の3教科における習熟度別指導・個別指導などの充実を図るため、全校全学級で少人数授業を実施するとともに、各校の実情に応じて、少人数指導教科を拡大（理科・社会）した。

また、夏季休業期間中に教育センターを利用して、習熟度別のコース設定による補習講座や学期中の土曜補習講座を実施するなど、生徒の学力に応じたきめ細かな学習支援を行った。

ア 非常勤講師の配置

24人（国語・数学・英語・理科・社会 各校6人×4校）

イ 夏季補習講座

実施回数 5日間×2回

参加生徒数 189人（第1学年87人、第2学年47人、第3学年55人）

参加率 約14.3%（参加生徒数／在籍生徒数）

ウ 土曜補習講座

実施回数 I期（4月）2回、II期（9月）2回、III期（11・12月）3回

参加生徒数 延355人

(4) 英語教育の推進

[決算額 76,921千円]

国際化が進展する中、小学校の英語活動および中学校の英語の指導について、幼少期から英語に親しむことで、英語学習への関心や意欲を持たせるため、全校にALT（外国人英語指導講師）を配置し、コミュニケーション能力の向上、中学校英語への効果的な接続、国際理解教育の視点に立った授業内容の展開を図った。

小学校 第1・2学年 年間11時間（月1時間）

第3～6学年 年間35時間（週1時間）

中学校 ALT配置日数 各校年間190日

(5) 校務支援システムの導入

[決算額 90,864千円]

児童・生徒の基本情報を一元管理し、情報の共有や効率的な活用を図るとともに、学校・幼稚園における情報管理をさらに徹底するため、校務支援システムを導入した。

(6) 健康教育の推進

[決算額 55,750千円]

ア 小学校の体育指導

全校に体育指導補助員を配置し、児童の関心・意欲や技能に合った実技指導の補助など体育指導を充実するとともに、マイスクールスポーツ（1校1運動）への継続的な取組を行った。

イ 中学校の体育指導

安全で効果的な指導により生徒の体力向上を図るため、武道・ダンスなどの運動種目ごとの専門的な知識・技術や指導能力を有する種目別サポーターを配置し、体育指導の充実を図った。

ウ 小・中学校の食育指導

大学講師、プロの料理人など「食」の専門家による授業を実施した。

また、親子クッキングスクールでの学校給食の献立紹介や食育に関する啓発資料の展示などを通じて、バランスの良い食事、生活習慣などの普及啓発を図った。

エ 中学校の部活動指導

部活動を安定的に実施するため、専門的な知識・技術および指導能力を有する指導員を外部から募り、部活動の活性化を図った。

(7) 国際教育・理数教育の推進

[決算額 2,366千円]

本区が目指す国際教育および理数教育のあり方や、パイロット校におけるカリキュラムづくりに向けた方向性、公教育としての学習内容の具体化を図るため、学識経験者や教員、地域関係者などで構成する委員会を設置して、その方策について検討し、報告書をまとめた。

ア 開催回数

各委員会5回

イ パイロット校

国際教育 常盤小学校

理数教育 城東小学校

(8) 特別支援教育への対応

[決算額 136,696千円]

ア 特別支援教育専門員の配置

適切な就学相談を実施するとともに、就学後においても継続的にアプローチし、個々の障害に応じた教育的支援を行った。

特別支援教育専門員 3人 相談件数 66件

イ 特別支援教育アドバイザーの派遣

全学校・幼稚園に医師や臨床心理士などを派遣し、心身に障害のある児童・生徒についての専門的な指導・助言などを、教員に対して行った。

派遣回数 小・中学校 各校年3回 宇佐美学園 年3回

幼稚園 各園年3回 特別支援学級・通級指導学級 各学級年3回

ウ 特別支援学級の運営

心身に障害のある児童・生徒に対し、特別支援学級を設け、特別支援教育補佐員を配置するなど、一人ひとりの能力に応じた適切な教育を行った。

平成26年度は、京橋築地小学校に通級指導学級（情緒障害など）を開設した。

また、明正小学校に通級指導学級（難聴・言語障害）を平成27年度に開設するための準備を行った。

エ 特別支援教育コーディネーター補佐員の試行配置

教員による特別支援教育コーディネーターを補佐する特別支援教育コーディネーター補佐員を配置し、スクールカウンセラー、学習指導補助員などとの連携づくりのコーディネートや、児童・生徒の能力・特性を伸長する手立ての検討の支援を行った。

オ 学習指導補助員の配置

通級指導学級に通う児童・生徒が、在籍校の通常学級で学習する場合や、教育的支援を必要とする児童・生徒が通常学級に在籍する場合において、きめ細かな支援と学習指導を円滑にすることを目的として、学習指導補助員を配置した。

カ 介助員の配置

重い障害のある児童・生徒が在籍する学級に対し、介助員を配置した。

(9) 心を育てる教育の推進

[決算額 15,021千円]

深刻ないじめ問題などを未然に防止するため、命の尊さや友情の大切さといった心に訴える授業を全校で実施した。

また、不登校児童・生徒にさまざまな角度からアプローチするため、教育センターで実施する適応教室「わくわく21」に適応教室専門員（教職経験者）を配置し、学校などと連携を図り、不登校の児童・生徒の生活や学習状況を詳細に把握するとともに、自立に向けた支援を行った。

ア 命と心の授業（外部講師の講演など）

小学校16校・中学校4校

イ 適応教室専門員の配置

適応教室専門員 4人

(10) 教育相談等

[決算額 60,495千円]

教育全般に対する相談業務を担う専任教育相談員(教職経験者、臨床心理士など)が、教育センターでの来所相談や電話相談を行うとともに、小学校、幼稚園および保育園を訪問した。

さらに、いじめ、不登校、暴力行為など、生活指導上の課題に対応するため、関係機関との連絡・調整を図るとともに、専門的な知識や技術を用いて、問題を抱える生徒や家庭を支援するスクールソーシャルワーカーを、全中学校に派遣し、教育相談体制の強化を図った。

ア 専任教育相談員

16人

イ 相談件数

286件

ウ スクールソーシャルワーカー派遣回数

中学校4校 年161回

(11) 小学校・幼稚園の改築・増築

[決算額 5,394,155千円]

学校施設の老朽化や児童数の増加への対応とともに施設機能の更新を行い、新しい時代に即した教育環境の整備や良好な学習空間の確保を図るため、小学校・幼稚園の整備を進めた。

ア 明正小学校・明正幼稚園の改築

整備経過等	平成24年度	既存校・園舎解体	建設工事
	平成25年度	建設工事	
	平成26年9月	新校・園舎開設	

イ 豊海小学校・豊海幼稚園の改築(防潮堤整備を含む)

整備経過等	平成25年度	基本設計・実施設計
	平成26年度	建設工事

ウ 久松小学校・久松幼稚園の増築

整備経過等	平成25年度	基本設計・実施設計
	平成26年度	建設工事

エ 月島第二小学校・月島第二幼稚園の増築

整備経過等	平成25年度	基本設計・実施設計
	平成26年度	建設工事
	平成27年4月	新校・園舎開設

オ 日本橋小学校・日本橋幼稚園の増築

整備経過等	基本設計
-------	------

- カ 有馬小学校・有馬幼稚園の増築
整備経過等 基本設計・実施設計
- キ 月島第三小学校・晴海幼稚園の増築
整備経過等 基本設計・実施設計

(12) スクールバスの運行 **[決算額 30,044千円]**

特認校制度の実施に伴い、就学人口の多い月島地域から比較的離れている小規模校である城東小学校、常盤小学校および阪本小学校への交通手段として、スクールバスを登下校時に運行した。

- ア 運行便数
登校時1便 下校時2便
- イ 乗降場所
月島地域で指定する4カ所および各校の正門付近
- ウ 利用者数
117人

(13) 教育振興基本計画の改訂 **[決算額 755千円]**

平成22年3月に策定した「中央区教育振興基本計画」について、前期計画期間（平成22（2010）～26（2014）年度）が満了したことを受けて、この間における各施策の進捗状況や社会情勢の変化、中央区内外の教育を取り巻く新たな状況の変化などを踏まえ、後期計画期間（平成27（2015）～31（2019）年度）における教育施策の着実な前進を図るため、平成27年3月に改訂した。

(14) 学校評価システムの推進 **[決算額 2,130千円]**

学校運営の改善と発展を図るため、全学校・幼稚園において、教職員による「自己評価」と自己評価の結果を踏まえた「学校関係者による評価（外部評価）」を実施し、評価結果を公表している。

平成26年度から、外部評価に4年に1度のサイクルで学校運営に専門的な識見のある第三者を加えた評価を本格実施した。

- | | |
|------------------|---|
| 第三者を加えた外部評価実施校・園 | 城東小学校、泰明小学校・幼稚園、
中央小学校・幼稚園、明石小学校・幼稚園、
銀座中学校 |
|------------------|---|

* 生涯学習・スポーツ

(1) 明正小学校のスポーツ開放

[決算額 883千円]

区民の健康増進と体力向上を図るとともに、地域スポーツの振興に寄与するため、明正小学校新校舎の体育施設の開放を行った。

開放開始 平成26年10月

利用実績 体育館 32団体

○ 文化の香る交流のまちづくり

* コミュニティ

(1) 大江戸まつり盆おどり大会 [決算額 44,148千円]

区民のふるさと意識の高揚と地域の活性化を図るため、江戸のまちにゆかりの深い盆踊りを中心とした「中央区大江戸まつり盆おどり大会」を実施した。

実施日	平成26年8月22日・23日
実施場所	浜町公園
実施内容	盆おどり大会、大江戸縁日コーナー、友好・交流都市コーナーなど
参加者数	延78,000人

(2) 雪まつり [決算額 12,770千円]

自然の雪と接する機会の少ない中央区民が、積極的に参加できる冬のイベントとして、本区の友好都市である山形県東根市から雪の提供（10 tトラック20台分）を受けて実施した。（隔年実施）

実施日	平成27年2月7日・8日
場所	あかつき公園
内容	雪遊びコーナー、ミニ動物園、味コーナー、炊き出しコーナーなど
来場者数	延20,000人

(3) 協働提案事業 [決算額 2,569千円]

社会貢献活動団体（NPO法人・ボランティア団体など）と区が力を合わせて公共的な課題解決に取り組み、よりきめ細かな行政サービスを提供するため、平成25年度に協働提案事業を公募し、審査のうえ採択された2事業について平成26年度に実施した。

ア 妊娠初期からの継続的な、「孤育て予防」のための情報発信事業

多様な子育て支援施策のひとつとして、出産や子育てに関する不安の解消を図るとともに、産前産後の経過に応じたタイムリーな子育て支援情報を携帯端末に配信した。

実施団体	特定非営利活動法人きずなメール・プロジェクト
開始日	平成26年6月20日
利用者数	産前（妊婦向け） 439人
	産前（男性向け） 64人
	産後（育児） 739人

イ 檜原村紹介事業 ～檜原村で知る、見る、体験ツアー～

檜原村の自然や文化、村民とのふれあいを通して、環境を守ることの大切さを学ぶ機会を提供するとともに、より多くの人が中央区の森を訪れる契機となる体験ツアーを実施した。

実施団体 中央区森の応援団

実施日 平成26年11月9日

参加者数 30人

(4) 区民還暦祝い事業

[決算額 10,864千円]

還暦を迎える区民の人生の節目を祝福するとともに、今後の人生をより充実させるための学びへの意識高揚や、これまで培った知識や経験・能力を地域社会で生かしたいという行動の契機とすることを目的に実施した。

ア 還暦祝い状・祝い品（映画ペア券）の贈呈

対象 平成26年度中に60歳を迎えた区民

発送時期 平成26年9月

イ 還暦のつどいの実施

実施日 平成26年11月23日

対象 参加を希望する還暦対象者

会場 銀座ブロッサム（中央会館）ホール

内容 シニア世代の活動紹介、コンサート

* 文化振興

(1) 中央区まるごとミュージアム

[決算額 33,826千円]

本区全体が、名所・旧跡、画廊・美術館、水辺などさまざまな魅力に満ちあふれるミュージアムであることから、区民などが区内を無料のバスや船で回遊しながら、民間事業者などが行う文化イベントに参加し、本区の文化的な魅力を楽しみ享受できる1日となるよう、中央区文化・国際交流振興協会との共催で実施した。

実施日 平成26年11月1日

場所 中央区全域

参加者数 延67,000人

(江戸バス・借上バスの乗車人数 5,956人、船の乗船人数 4,145人)

(2) まちかど展示館 [決算額 25,708千円]

地域文化の継承と区民の文化意識の向上を図るとともに、地域への誇りや愛着心をはぐくむため、区民などが地域にある文化資源を発掘し、展示・公開を行う施設を新たに整備する場合に、その整備等に要する費用を助成した。また開館後は、施設の管理運営に必要な経費の一部を助成した。

認定件数 3件（総認定件数 22件）

助成件数 18件（建築費補助 2件、改装整備費補助 2件、設計費補助 1件、
施設管理運営費 13件）

(3) 文化事業助成 [決算額 2,759千円]

本区にふさわしい文化の創造や区民および民間事業者などによる文化活動の活性化を図るため、文化振興基金を活用して文化事業に対する助成を行った。

助成対象事業

- ・ 広く区民などに公開される、原則として他で発表されていない新たな取組であるもの
- ・ 区の魅力を発信する文化事業で区内で公開されるもの
- ・ 文化事業に携わるボランティア、文化事業を主な目的とするNPOなど文化事業を行う個人または団体を区内で育成するもの

助成事業数および助成額 2事業 2,550千円

* 平和

(1) 平和の都市（まち）の楽しい集い [決算額 9,444千円]

本区は、昭和63年3月15日に平和都市であることを宣言した。

この宣言の趣旨を普及させるとともに、平和の大切さを区民に訴えるため「平和の都市（まち）の楽しい集い」を開催した。

実施日 平成27年3月15日

場所 銀座ブロッサム（中央会館）ホール

内容 クラシックコンサート

「春うらら～夢見心地の煌く調べ～」

出演者 花房 晴美、NHK交響楽団弦楽四重奏団

前売入場券発売数 900枚

当日入場者数 823人

(2) 平和展

[決算額 2,445千円]

本区の空襲被害、戦中・戦後の市民生活や子どもの様子など、当時を物語る写真や戦災資料を公開展示することにより、区民に平和の大切さや尊さを訴え、平和を見つめ直すきっかけづくりとして、平和展を開催した。

また、次代を担う児童・生徒に戦争の悲惨さ、平和の大切さを考えてもらうきっかけづくりとするため、区立小・中学校巡回平和展を実施した。

ア 平和展

期 間	平成27年2月24日～3月10日の開庁日
場 所	区役所1階 ロビー 日本橋区民センター1階 エントランスホール 月島区民センター1階 コミュニティサロン
展示内容	写真パネル・物品資料の展示、ビデオ上映
来場者数	約20,000人

イ 区立小・中学校巡回平和展

対 象 校	小学校16校、中学校4校
期 間	平成26年9月25日～平成27年2月4日 1校当たり2週間の展示
内 容	写真パネルの展示、平和絵本・平和クイズの展示・閲覧、平和関連映像DVDの貸出

4 その他の主要な課題への対応と区政改革の推進

○ 新たな課題への対応

(1) 「区のおしらせ 中央」および「区議会だより」の地下鉄駅での配布

[決算額 584千円]

「区のおしらせ 中央」および「区議会だより」の入手機会の拡大を図るため、新たに地下鉄駅（東京メトロ京橋駅・三越前駅・新富町駅・築地駅）で広報紙の配布を開始した。

(2) 区議会ホームページ一般質問音声データの掲載

[決算額 906千円]

区民が区議会の活動を身近に感じ、関心が深まるよう区議会一般質問の様子を録音し、インターネットを通して広く配信した。

(3) 日曜開庁日の拡大

[決算額 4,531千円]

平成21年度から、年末年始および月末・祝日を除く日曜日に、本庁舎の1階において窓口を一部開庁して住民サービスを行っているが、さらなる住民サービスの向上を図るため、平成26年度から年末年始以外のすべての日曜日を開庁した。

開庁日数 52日

開庁時間 午前9時～午後5時

来庁者数 10,703人(1日平均206人)

取扱業務

- ・住民基本台帳の転出入(国外からの転入を除く。)・転居・世帯変更などの異動処理、住民票の写しの交付、印鑑登録・廃止、印鑑登録証明書の交付
- ・戸籍届書の受領、戸籍全部事項証明書・個人事項証明書などの交付
- ・国民健康保険の加入・喪失届の受付、後期高齢者医療に関する資格の届出の受付

(4) 保健医療福祉計画の改定

[決算額 20,264千円]

保健・医療・福祉の総合計画である「保健医療福祉計画」の計画期間が平成26年度をもって終了することから、基本的指針となる総合計画および個別計画のそれぞれについて、平成27年度を始期とする計画に改定した。

総合計画 「中央区保健医療福祉計画2015」

個別計画 「第4期中央区障害福祉計画」

「中央区高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画」

「中央区子ども・子育て支援事業計画」(※16頁に別掲)

(5) 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会実施に伴う影響等調査

[決算額 12,744千円]

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の実施に伴い生じる本区への影響や課題を整理し、大会の成功と大会後の本区の良いまちづくりに資する効果的な対応策を検討するため、調査を実施した。

ア 影響等調査

- ・大会に向けた関係機関の取組等
- ・過去の大会等の事例分析
- ・有識者等ヒアリング
- ・大会開催による区への経済波及効果
- ・基本計画2013における影響および課題ほか

イ 対応策の検討

本区が将来を見据えて総合的に取り組んでいく分野として「スポーツ」「国際教育・交流」「観光・文化」「防犯・防災」「まちづくり」の5つに整理し、その取組内容や大会後のレガシーについて取りまとめ、「2020年に向けた中央区の取組」(冊子)を作成した。

○ 区施設の改修

- (1) 中央会館「銀座ブロッサム」 [決算額 59,352千円]

施設の老朽化に伴い、外壁改修、トイレ設置工事を行った。

工事期間 平成26年6月～12月

- (2) 特別養護老人ホーム「マイホームはるみ」等複合施設 [決算額 1,046,410千円]

施設の老朽化への対応のため、大規模改修工事を実施し、併せて特別養護老人ホームの定員を拡大した。

工事期間 平成24年7月～平成27年3月

マイホームはるみ入所定員 ・ 特別養護老人ホーム 80人→106人

・ショートステイ 8人→11人

- (3) 新川区民館・新川職員住宅 [決算額 44,140千円]

施設の老朽化に伴い、外壁改修、屋上防水改修、外階段改修工事を行った。

工事期間 平成26年11月～平成27年3月

- (4) 日本橋保健センター等複合施設 [決算額 81,285千円]

施設の老朽化に伴い、外壁および防水改修工事を行った。

工事期間 平成26年11月～平成27年3月

- (5) 箱崎町住宅 [決算額 40,716千円]

施設の老朽化に伴い、外壁および防水改修工事を行った。

工事期間 平成26年10月～平成27年3月

平成26年度

主要な施策の成果説明書

刊行物登録番号
27-053

編集・発行

中央区企画部企画財政課

中央区築地一丁目1番1号

電話 03(3543)0211

印 刷

タナカ印刷株式会社浜町営業所

中央区日本橋浜町三丁目39番11号302

電話 03(5623)3981